

令和5年度
自己評価報告書

令和6年3月29日
アンビシャス国際美容学校

目次

I. 学校の現況.....	1 ページ
II. 評価の基本方針.....	2 ページ
III. 重点目標.....	3 ページ
IV. 項目毎の記述.....	4～8 ページ

I. 学校の現況

- (1) 学校名 アンビシャス国際美容学校
- (2) 所在地 大分県大分市大字市 551 番地
- (3) 沿革 2003 年 『ワールドビューティーアカデミー』開校（大分市新明治）
（厚生労働大臣指定 美容師養成施設）
2004 年 『アンビシャス国際美容学校』に校名変更
2007 年 わさだエリアに校舎を新設移転（大分市市）
2010 年 大分県知事の認可を受け専修学校に移行
2013 年 創立 10 周年 記念事業実施
・「アンビシャス国際美容学校同窓会」発足
2018 年 創立 15 周年 「超美容師特化型カリキュラム」始動
・「AMBI 祭」会場をトキハわさだタウンへ
2019 年 高等教育の修学支援新制度の対象校に認定
2021 年 文部科学大臣より職業実践専門課程に認定

(4) 学科の構成

美容科 昼間課程 / 美容科 通信課程（春期・秋期）

(5) 学生数及び教職員数(2024 年 3 月 1 日時点)

学生数	美容科 昼間課程	23 名
	美容科 通信課程	39 名
教職員数	専任教員	7 名
	兼任教員	5 名

(6) 施設の概要

普通教室 2、実習室 1、消毒室 1、多目的室 1、図書室 1、職員室 1、理事長室 1、医務室 1

II. 評価の基本方針

(1) 学校評価への取り組み

学校が実践的な職業教育等を目的として自らの教育活動やその他の学校運営について、関係業界等のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等について評価・公表することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、学校関係者等への適切な説明責任を果たすとともに理解と参画を得ることで、連携と協力による特色ある学校づくりを進める。

これにより、学生が質の高い実践的な職業教育等を享受できるよう、学校運営の改善と充実を目指すための取り組み。

(2) 自己評価

評価項目・指標等を設定し、また外部アンケート等を活用し、自己評価を実施する。

【自己評価項目】

- 教育理念・目的・人財育成像
- 学校運営
- 教育活動
- 学修成果
- 学生支援
- 教育環境
- 学生の受入れ募集
- 財務
- 法令等の遵守
- 社会貢献・地域貢献

【外部アンケート】

- 在校生アンケート（学校生活に関するアンケート・授業アンケート）
- 卒業生アンケート
- 就職先アンケート

(3) 学校関係者評価

学校関係者を選任し、学校の諸活動の観察等を通じて、当該年度の学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価を実施する。

III. 重点目標

(1) 重点目標

美容室との連携強化と、国家試験全員合格を当たり前！

①美容室との連携強化

2018年度より導入した「美容室に就職してから身に付ける技術を美容室のやり方で在学中に学ぶ“超美容師特化型カリキュラム”」だが、昨年度（2022年度）からは多様な技術を様々な角度から学ぶため、現役美容師を月替わりで講師として招聘し、より実践的な授業を行っている。

今年度は、この“超美容師特化型カリキュラム”のことを、美容の専門学校に通いながら同時に美容塾にも通っているかのように学べる“美容塾授業”と謳い、より美容室と連携して即戦力となる人財の育成を進めている。また、この“美容塾授業”の学生の習得レベルを上げるためには、学生の受講姿勢を整えることで、講師がもっと教えたいようになるように、本校教員が授業をコーディネートすることを今年度の目標とする。

②国家試験全員合格

昼間・通信の区別なく、また、個々の能力に差があれども、本校に入学した学生の全員が国家資格を当たり前取得できる運営を目指す。

(2) 取組状況・成果

①昨年に続いて、講師が変わることへの混乱は見られない。今年の学生は、特に外部講師の授業への積極性に欠ける者が多いが、授業の合間で声掛けなどを行っている。一方、前向きかつ積極的に学ぶことができている者もいる。

美容室から“美容塾授業”の講師をしたいというご連絡も増えてきた。

②特に、通信課程の在籍者が増えていることから、学年別に指導方針や担当を決めて授業を進める。昼間・通信ともに、実技の導入から仕上げまでの新たな指導方針が確立されつつある。

(3) 課題

①授業内容やその時々によって、受講態度に個人差がある。

②筆記対策がまだ確立されていない。誰か一人が筆記で不合格になってしまうことがある。

(4) 今後の取組

①学生の受講姿勢を整えることで授業をコーディネートするのみ！習得レベルの向上を引き続き目指す。

②昼間課程は、長期・中期・短期的な目線で、国家試験に全員合格させるために何が欠けているのかを洗い出し、国家試験全員合格のための指導態勢を確立させる。

通信課程では、ここ数年と比べると倍以上の在籍者となり、これまでの全てを見直し、全員合格を当たり前にする必要がある。具体的には、①スクーリング実施方法の検証②出欠席の管理③補講の管理④国家試験対策（春入学者用と秋入学者用）を見直し、指導態勢を構築する。

IV. 項目毎の記述

(1) 教育理念・目的・人財育成像

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学校の理念・目的・育成人財像・育成目標は定められているか。	④	3	2	1
学校の理念・目的・育成人財像・目標などが、職員・学生・業界関係者・保護者等に周知がなされているか。	4	③	2	1
社会や業界のニーズを踏まえた将来構想を抱いているか。	④	3	2	1

①課題

周知にも努めており、それらをもとに学生個人の目標設定など指導しているが、日々の行動への落とし込みまではできていない。

②今後の改善方策

理念にある行動指針をもとに学期ごとの行動目標を設定させることで、浸透を図る。

③特記事項

卒業生アンケートに「在学中に、理念にある行動指針が身に付いた」とあり、意識して学生生活を過ごしてくれていたことが喜ばしかった。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学校の理念等に沿った運営方針が定められているか。	4	③	2	1
運営方針を実践するための事業計画が策定されているか。	4	③	2	1
運営組織や意思決定機能は明確化されているか、また有効に機能しているか。	4	3	②	1

①課題

定めは十分だが、相変わらず定めも教職員・学生ともに浸透が一律ではない。決定や進捗がギリギリであったり後手に回ることもある。また、定めに戻るとは、その場の判断になってしまうこともある。

②今後の改善方策

教職員の態勢も安定してきたので、担当の再編成を行う。役割の分担や活性化を図る。

③特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
育成目標を達成するための修業年限に応じた教育到達レベルは明確にされているか。	4	③	2	1
関連分野の企業・関係施設等との連携によるカリキュラムの開発・作成が行われているか。	④	3	2	1
学生の現状や業界のニーズにより、教育方法の工夫・見直しが行われているか。	④	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか。	4	③	2	1
成績評価、進級・卒業の認定基準は明確かつ適切に運用されているか。	④	3	2	1
育成目標を達成することができる要件を備えた教員が確保されているか。	④	3	2	1

①課題

個人差があるが、学生の受講姿勢は、その時の精神状態に左右されることもあり、日毎にムラがある。精神面が学習意欲につながり、習得レベルにも関係してくる。

②今後の改善方策

明らかに精神面が不安定な学生が増えた今、その都度、個々に向き合っていくしかない。一方で、1人を見過ぎず、学生全員が学びやすい環境づくりを心掛け、入学した全員が卒業し、全員が国家試験に合格する2年間を提供する。

③特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
就職指導計画が策定され、就職率の向上が図られているか。	④	3	2	1
資格取得指導計画が策定され、資格取得率の向上が図られているか。	4	③	2	1
卒業生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	③	2	1

①課題

相変わらず、同窓会は機能していない。

②今後の改善方策

在校生は、やはり卒業生のことを身近に感じるようなので、個々の対応にはなるが、今後も接触の機会を確保していく。

③特記事項

進路選択では、ここ数年、これまでの“傾向”がなくなっており、希望も多様化している。必ずしも就職を望まない場合も発生している。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
進路に関する支援体制は整備されているか。	4	③	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか。	4	③	2	1
保護者と適切に連携しているか。	4	③	2	1

①課題

先の記述にもあるように、精神面が不安定な学生が増加している。また、進路希望も多様化している。

②今後の改善方策

引き続き、学期ごとの担任面談と進路面談を実施し、必要に応じて家庭とも積極的に連携していく。

③特記事項

応募先から不採用となった後、希望の就職先が見つからず、1名就職せずに卒業した。1年次の退学者が0人だった。どちらも久しぶりのことであった。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4	③	2	1
学外実習等に関する体制は整備されているか。	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか。	4	③	2	1

①課題

校舎の築年数が経過してきているので、あちこちに傷みが出てきている。

②今後の改善方策

施設や備品は、都度修理や入れ替えを行う。

③特記事項

職員が防災士となった。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
高等学校等接続する機関に対する情報提供の取り組みが行われているか。	4	3	②	1
学生募集活動は、適切かつ効果的に行われているか。	4	3	②	1
学納金は妥当であるか。	4	③	2	1

①課題

高校生と直接対面できる機会がない。高校生の応募が少ない。

②今後の改善方策

高校訪問と進路サイトとの契約で高校生の募集を行う。

“自力でも通える”学費設定で開校以来学校運営を行っている。上げずに持ちこたえたい。

③特記事項

次年度は、高校生の入学が少ない一方で、中学生や社会人の入学が増えそうだ。通信課程への社会人の入学は倍増し、昼間課程を超えている。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	③	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	③	2	1
学生数変動に応じた計画が組まれているか。	4	③	2	1

①課題

高校生の入学が減った。

②今後の改善方策

学費を上げない代わりに、抑えられる経費は抑える努力をする。

③特記事項

変わらず借金は無いが、変わらず教材の仕入れ価格は上がり続けている。光熱費も同様である。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4	③	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4	③	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4	③	2	1

①課題

努めているが、手探りの部分もある。後手に回ることもある。

②今後の改善方策

関係機関と連携して、継続して努めていく。

③特記事項

学校評価委員会は書面にて評価を行う。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	③	2	1
地域に根差した学校となるための活動を積極的に実施しているか。	4	③	2	1
学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	4	③	2	1

①課題

学生も少なく、物理的に地域の期待に応えることができないこともある。

②今後の改善方策

特に地域の要望などには、関わっていく。

③特記事項

現在の主な地域交流…清掃活動、AMBI 祭 in わっタン、保育園や養護施設、学童保育との交流

令和5年度
学校関係者評価報告書

令和6年4月30日
アンビシャス国際美容学校

1. 学校関係者評価委員

《美容関連企業》

株式会社ラミル・ビー 代表取締役 久保田努

有限会社ブームコーポレーション 代表取締役 久保真哉

said. hair and lifestyle 代表 近藤孝則（卒業生）

《地域協力企業》

有限会社ぶんどろ 代表 分藤貴弘

2. 令和5年度年度の委員活動等

4月 校長が各委員へ当該年度の取り組みを個別に説明。

4月6日他 久保委員が2年生を対象に授業『デザインカラー』および『デザインカット』を実施
(『デザインカラー』:全3回 『デザインカット』:全4回)

6月16日 久保田委員が2年生を対象に授業『美容経営学』を実施

11月2日 全委員が校内コンテスト『AMBI杯』に審査員として参加。

翌4月 書面による学校関係者評価を実施。

3. 令和5年度 学校関係者評価報告

以下の項目についての評価結果は別紙の通り。

I. 学校の現況

II. 評価の基本方針

III. 重点目標

IV. 項目毎の記述

V. その他

I. 学校の現況について

より学生数が増加し、活気あふれる学校として、これからも益々の繁栄を期待する。
外部講師を積極的に招き、より就職してからの専門的な技術・知識の習得に長けているので、他の学校との差別化ができています。
通信生が増えている。
学生数が昼間課程よりも通信課程の方が増えている現状で、今後他の専門学校との差別化や強みや特色をどう出していくかが重要だと感じる。

II. 評価の基本方針について

素晴らしい評価方針だ。
業界、学生のニーズに合った教育ができていて、評価の基本方針にも反映されている。
評価自体の在り方の見直しも必要だ。この評価を通じて、学生獲得にどう活かしていくのかを明確にしていくことが必要だと感じている。

III. 重点目標について

(1) 重点目標

今の特化型カリキュラム導入後の卒業生の動向（活躍、職場など）も気になるところだが、その価値の益々の活躍を期待している。
①の部分は、連携強化ができていると思う。②は、美容学校として必要な部分。
美容塾授業については、インスタでその様子を見させてもらっている。生徒の「人によって教え方ややり方が違うから分からなくなる」という意見に対して、「それぞれのやり方があって当然で、そこから学びを見つけてもらいたい」という方針を以前聞いたが、その根本の考えが生徒に伝わっているか再確認し、「こうして授業をするために、美容師さんが予約を STOP して来てくれていることのありがたさを感じながら臨んでもらいたい。
取り組みへの一定の評価はあると思う。

(2) 取組状況・成果

大変素晴らしいと思う。
①は、全員の積極性がさらに増すとなお良い。②の通信課の学生の指導方針の確立に期待する。
外部講師の授業への積極性に欠けるとあったが、やはり授業をする側はそこにとても敏感だと思う。号令であったり、態度については、しっかりとした指導が必要だと思う。
消極的な学生像は社会の流れとともに増えていることから、取り組みが大変だと思うが、引き続き学校の積極性の中で育てていただきたい。

(3) 課題

授業態度は、個々のモチベーションや目標の有無にも関係してくると思うので、大変難しいだろうが、改善を期待する。
①について、専門的過ぎる授業内容の外部講師がいるのかとも思う。

受講態度に個人差があるのは当然だと思うが、「なぜ今この授業をしてくれているのか」その意図だったり、生徒にとってその環境が当たり前にならないような、声掛けは必要だと思う。何気なく前を歩いているエントランスに飾ってあるあの言葉の意味を感じてもらいたい。課題から目標が決まってくるので、この課題をもっと具体的に捻出すべきだと感じる。

(4) 今後の取組

素晴らしい。取り組みに期待する。
期待している。
卒業生の卒業後の在籍率や開業数を含んだところの、数字が知りたい。そこから学校の将来像が見えてくる可能性があるように感じる。

IV. 項目毎の記述について

(1) 教育理念・目的・人材育成像

理念などは、理解はしても本当に行動に転化できるかは非常に難しいと思う。かなりの時間を使い、いい意味での洗脳が必要だろう。
現役美容師の方と触れ合うと、気持ちの面で差が出てくるのかなと思う。
学んだ理念が学生の将来にどこまで影響しているかを卒業生の現況から数値化してほしい。

(2) 学校運営

課題改善を期待する。
普段忙しい業務に追われてしまうことは分かるが、生徒の立場で考えると、“課題”に書いてあるようなことが、少しずつ不信感に変わっていくから、早めのスケジューリングと行動を心掛けたい。3項目が“やや不適切”というのが気になった。
長年培ってきた学校なので、運営自体は安定していると思う。

(3) 教育活動

教育活動は、経過、結果ともに素晴らしい。
国家試験全員合格が前提にあり、個々と向き合っていくのはとても良いことだ。
“精神面が不安定な学生”、以前から ambi にはいるイメージがあり、想像がつく。先生方も、無理せず、気楽に接するのが良いと思う。
日本の教育現場が大変な時代になっている。学生の中にリーダー不在が多い中、計画通りにはいかないと思う。先生方のモチベーションで大きく変わるので、頑張してほしい。

(4) 学修成果

同窓会の開催等は、有無の是非や開催方法を考えるなど、課題解決に期待する。
多様化の中で個別の対応が必要だと思うが、「母校」意識を確立するために試行錯誤の企画の実施は必要だと感じる。

(5) 学生支援

課題はあるかもしれないが、年々良い傾向に感じられる。引き続きお願いしたい。
学校での生活から就職先での生活まで、不安定になる事なくスムーズに社会人になるために、

学校と就職先との連携も必要だと思う。

病まない工夫も考えていかないといけない。退学者が0って、すごいことだと思う。

学校自体の学生支援だけでは限界があるので、その支援の輪を多角的に広げていくことが必要。

(6) 教育環境

素晴らしいと思う。

防災士がいるのは安心です。

校舎の傷みは感じなかった。

充分だと感じている。

(7) 学生の受入れ募集

年々応募数が少ないように感じるが、課題解決に期待する。

高校生が増えるといいと思う。

小学生の頃に、どこかの美容学校が来てワインディングをした記憶があって、何となく「美容師ってすごい」と思うようになったことを思い出した。高校生向けも大事だが、そういった種まきも可能な範囲でしていくとよい。

営業体制は重要だと思う。美容の世界を目指す人財発掘のカリキュラムが必要。

(8) 財務

部外者なので、回答は控える。

教材費等が上がる中、学費の上昇を抑えている事は素晴らしい。

物価上昇とのバランスを見ながらの判断は大変だと思うが、頑張ってもらいたい。

(9) 法令等の遵守

特に問題ないと思う。

(10) 社会貢献・地域貢献

素晴らしい活動を継続できることを期待している。

AMBI 祭等で、周辺地域との交流はできていると思う。

バランスよく適度に配分して活動していけばよいと感じる。

V. その他、ご意見等

美容業界の発展なくして、美容師の応募（生徒数）は右肩下がりになるかもしれないが、できるだけ生徒が楽しい学生生活を送れるようお願いしたい。

今回、通信課程の生徒数が多いことに時代を感じた。

在校生のアンケートを読む限り、ここ最近の中ではクセの強さを感じなかった。

先生方が工夫して学校を良くしようとしているのが伝わってきた。Ambi の発展を願っている。

長年続けていくほど、学生の資質や傾向は変わっていくが、なんとか柔軟に対応しながら、引き続き、次世代の人財を育ててほしい。